

「こんな支援策があったんだ…」と後悔しない 補助金・助成金の 情報収集はどうやる？



その② ミラサポplus 〈活用編〉



岐阜商工会議所 支援グループ
中小企業診断士
磯野 拓実

補助金を探す前にロカベンで自社を整理する

※ローカルベンチマーク

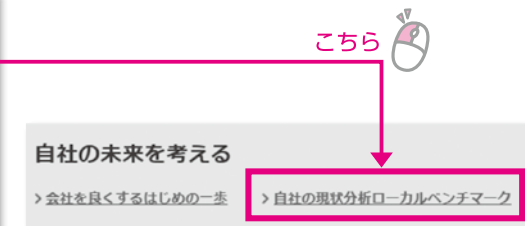
前々月号(6月号)では、国の支援策を探す入口として、中小企業向け補助金・総合支援サイト「ミラサポplus」をご紹介しました。ミラサポplusの大きな魅力は、補助金などの情報収集だけでなく、「自社の現状や課題」の整理もできる点にあると感じています。

今回はそのミラサポplus内からも利用できる、それらを整理するためのツール「ローカルベンチマーク」(通称:ロカベン)をご紹介します。



経済産業省 HP
(ロカベン)

ミラサポplus



出典: ミラサポplus トップページ(2026.7月末時点)

補助金や助成金を探す際には、「どの制度が使えるか」に目が向きがちです。

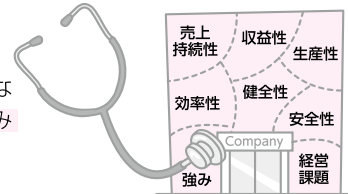
しかし実際には、その「前」に「自社は今どのような状況にあり、今後どこを目指し、そのために何に取り組む必要があるのか」を整理しておくことが大切です。

私は補助金や助成金は、それを実現するための「手段の一つ」であって、それありきで設備投資や広報活動に取り組むのは順序が違うのではないかと思っています。その事前整理を行うための「経営の健康診断」のようなツールこそ、「ロカベン」なのです。

● ロカベンは「経営の健康診断」

ロカベンは、企業の経営状態を財務面と非財務面の両方から整理するツールです。

人の健康診断では、検査結果から現在の状態を確認し、改善が必要な項目があれば、食事や運動などの対策を考えます。ロカベンも同様に、自社の現状を把握し、今後改善すべきことや伸ばすべき強みを考えるきっかけになります。



● 財務分析と非財務分析 ※ミラサポplus上で全ての分析をする場合は「GビズID」の取得が必須

ロカベンでは、大きく分けて「財務分析」と「非財務分析」を行います。

財務分析では、「売上持続性」「収益性」「生産性」「健全性」「効率性」「安全性」の6つの指標から、自社の財務状況を確認します。決算書の数字を入力することで、自社の状況を業種平均と比較し、チャートで確認できます。

非財務分析では、商品やサービスが顧客に届くまでの流れ、仕入先や販売先との関係、自社が選ばれている理由、経営者の考え、従業員や取引先との関係などを書き出します。整理する過程で、見落とししていた強みや、優先して改善すべき課題が見えてくる場合があります。



● 手軽に始めるなら Excel 版

実はロカベンは、ミラサポplus上で作成できるほか、経済産業省が公開している Excel 版も利用できます。GビズIDでログインする必要がないため、初めて取り組む場合には、ログイン不要の Excel 版が手軽だと思います。

一方、ミラサポplus版では、入力した情報をオンライン上で保存・更新できます。また、一定の条件のもと、ミラサポplus会員である経営指導員や金融機関の担当者、専門家などに情報を共有し、内容を確認・編集してもらうこともできます。

まずは手軽に作成したい場合は Excel 版、支援者とオンライン上で内容を共有・更新したい場合はミラサポplus版というように、使い分けるとよいでしょう。



Excel版のロカベン

● 補助金申請の土台にも

補助金申請では、「なぜその取組が必要なのか」「自社にはどのような強みや課題があるのか」「事業実施後に何を指すのか」を説明する必要があります。ロカベンであらかじめ整理しておけば、補助金申請書や経営計画書を作成する際の土台になります。また、我々のような支援機関と整理した内容を共有し、対話を重ねることで、自社だけでは気づきにくかった課題や、今後取り組むべき具体策が見えてくることもあります。

補助金や助成金の情報を集めることは大切です。しかし、制度を探す前に、自社の現在地と目指す方向を整理しておくことで、自社に合った支援策を選びやすくなります。

まずは一度、ロカベンを使って自社の経営を整理してみたいかがでしょうか。

